



株式会社

吉田ふぶきと村のご紹介



第9回 地域商社協議会

2018年5月21日

「よしだむら」の概要

H27年度国勢調査

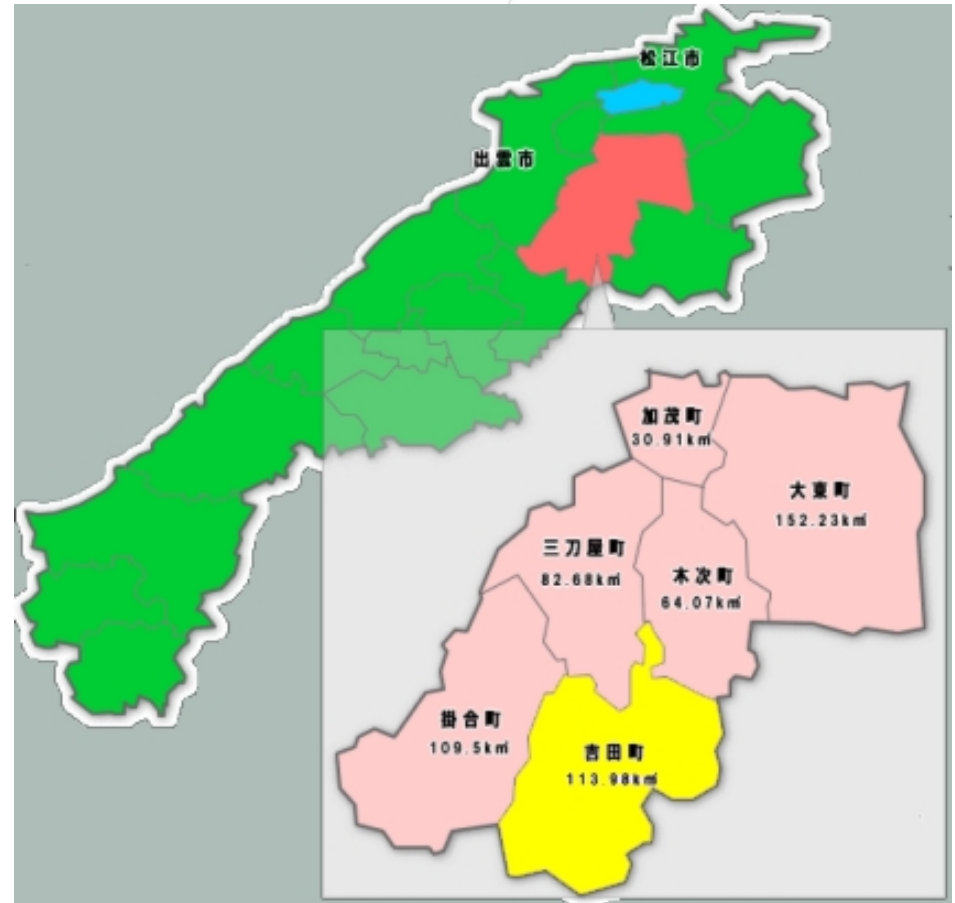
面積：113.98km²

山林：103.03km²

人口：1,767人

世帯数：651戸

高齢化率：44.65%



日本遺産認定



(財)鉄の歴史村地域振興事業団 提供

会社概要 ①



会社名 株式会社吉田ふるさと村

所在地 〒690-2801
島根県雲南市吉田町吉田1047-2

設立 昭和60年4月1日

背景 急速に進む人口減少
高齢化 → 「むら」消滅の危機感

目的

- ・ 地域の産業振興
- ・ 雇用の場の創出

会社概要 ②

H30.5.1現在

資本金 6,000万円

出資構成

雲南市	1,500万円 (25%)
法人・団体 (19)	2,815万円 (48%)
個人 (106)	1,685万円 (27%)

年商 4億2千2百万円 (平成29年度実績)

従業員数 57名 (パート含む)

ホームページ <http://www.y-furusatomura.co.jp/>



業務内容

- ① 特産品の開発及び製造・販売
- ② 公共団体の行う業務の受託
 - ・雲南市民バスの運転業務
 - ・簡易水道施設の管理
- ③ 管工事業及び水道施設工事業
- ④ 野菜と原木椎茸の栽培
- ⑤ 地域資源を活用した旅行商品の企画・販売
- ⑥ 飲食店の経営
- ⑦ 道の駅「たたらば壺番地」の共同運営
- ⑧ 「稲わら工房」の指定管理



食品加工のこだわり

吉田ふるさと村では、皆様に安心して召し上がっていただける食品づくりのために、原料は地元農家と契約し栽培された野菜やお米を使用し、食品添加物を一切加えない**安全な食品加工**と、環境にやさしい農業を行っています。また、機能的・衛生的な環境の整った設備のもとで生産しています。

契約栽培農家のみなさん



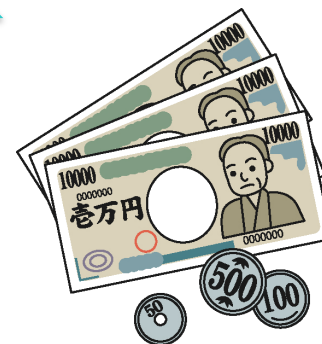
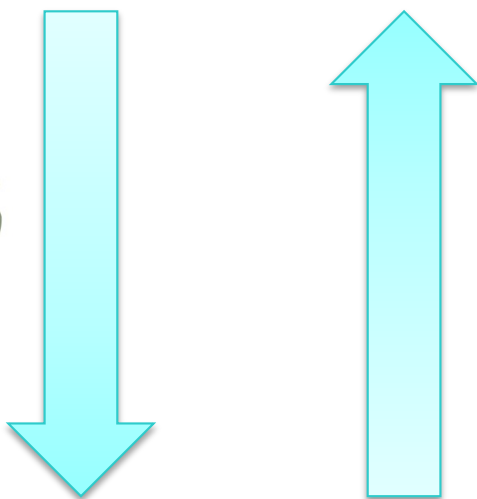
生産者との連携

契約栽培農家・農業生産法人

株主



米・野菜など



吉田ふるさと村

商品ラインナップ

餅



調味料



乾椎茸



冷凍食品



スライスもち



スパイスプロジェクト開発商品



平成22年度「むらおこし特産品コンテスト」
全国商工会連合会長賞受賞

たまごかけごはん専用醤油 「おたまはん」

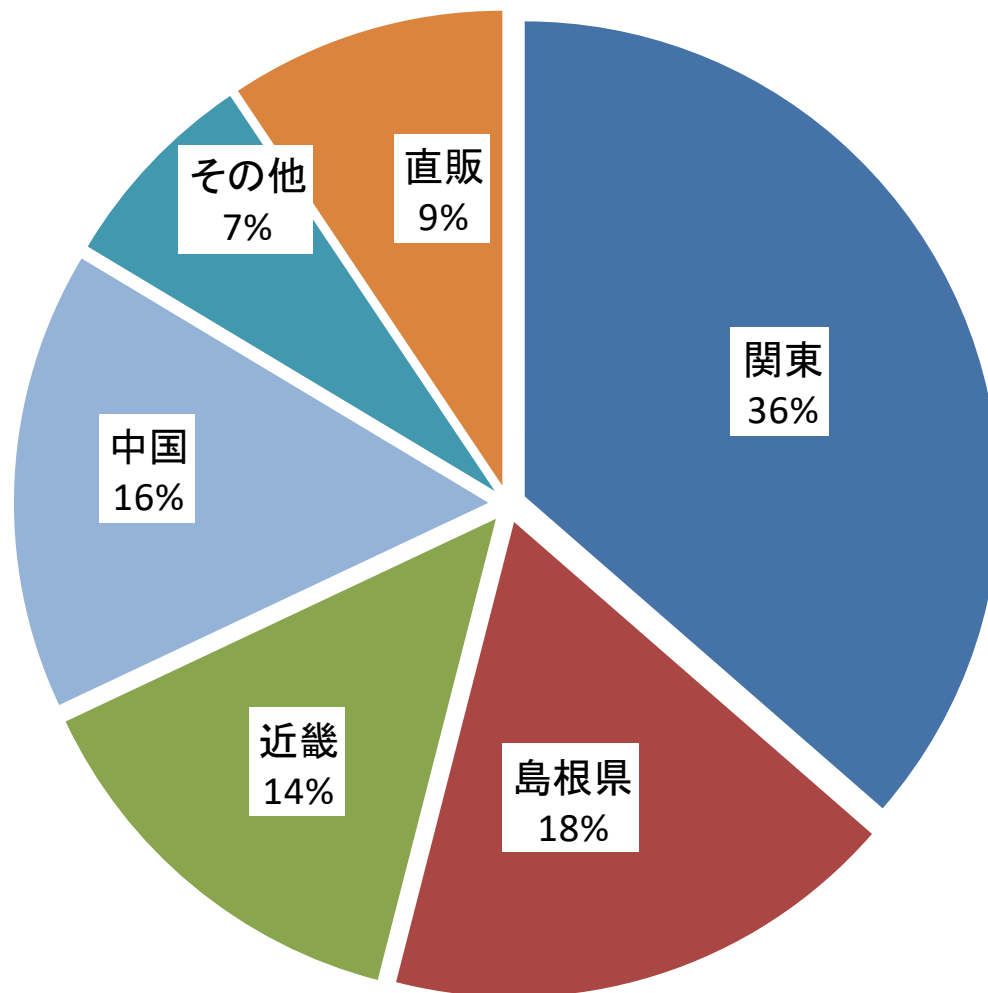


たまごかけごはんセット



販路

地域別売上高比率(平成28年度)



高速道路の活用

◇中国横断自動車道尾道松江線◇

～中国やまなみ街道～

平成27年3月22日全線開通!!



道の駅「たたらば壱番地」

オープン 平成25年3月30日

事業費 2億7,600万円

建物面積 648㎡

駅名由来 雲南地域はかつて「たたら製鉄」で栄え、吉田町はその中心地であったことから。

- 目的
- ・ 雲南市、島根県の観光情報の発信
 - ・ 観光客の市内への誘導
 - ・ 地場産品の提供、販売
 - ・ 高速道路利用者の憩いの場

たたら製鉄の歴史と技術を学ぶ

～観光事業部～

- ① 鐵の道紀行
- ② たたら操業体験ツアー
- ③ 鍛冶体験ツアー



日本たまごかけごはんシンポジウム

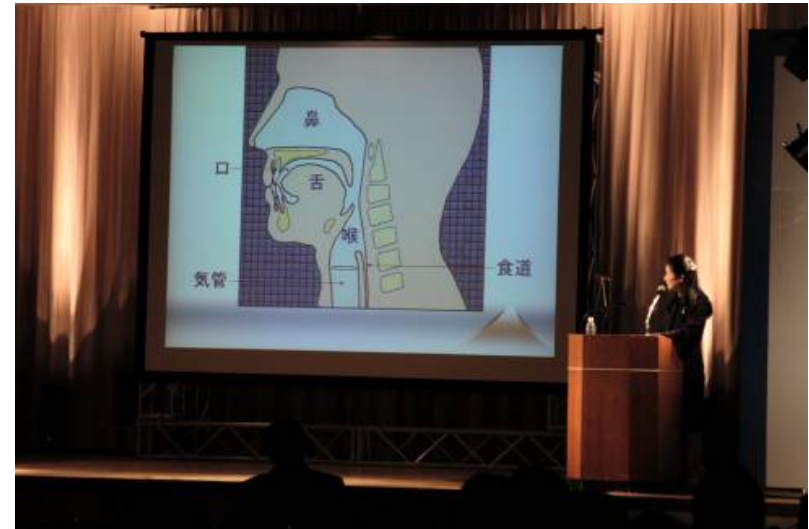
株式会社 日本たまごかけごはんシンポジウム実行委員会
日本たまごかけごはんシンポジウム
【おたまはん】

第1回 日本たまごかけごはんシンポジウム

雲南市吉田町

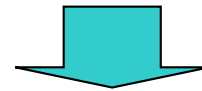
山形県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県

平成17年 10月28日(金)前夜祭 参加登録受付中
10月29日(土)・30日(日) 会場●雲南市吉田町内各所
(生涯学習交流館・総合センター
吉田町文化祭と同時開催 農村環境改善センター等)



おたまはんとシンポジウムの効果

- たまごかけごはん専用醤油という新しいジャンルを創造
- 全国的にたまごかけごはんブームを巻き起こす
- 専用調味料ブームを引き起こす
- 米や卵、醤油の消費拡大に寄与し、地域経済のみならず全国的に市場の活性化に貢献
- 島根県、雲南市の知名度アップに貢献
- 小さな過疎のむらでもアイデアと実行力で全国にアピールできることを実証



平成18年度 地域づくり総務大臣表彰受賞





株式会社吉田ふるさと村の特徴

- ① 地域貢献のための会社
- ② 民間主導型の第3セクター
- ③ 経営者・社員は地域に暮らす民間人
- ④ 社員はみな地域を愛し誇りを持つ
- ⑤ 可能な限り自分たちの手で
- ⑥ 地域資源を積極的かつ有効に活用

今後の課題

◎ 交流型事業の推進

- ・地域資源を活用した観光まちづくり
- ・交流人口の拡大、そして定住へ

◎ 社会的企業としての役割の拡大

- ・新規事業の創造

◎ 事業承継

◎ 人財育成

「静聴ありがとうございました」

